

第309回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成26年6月23日（月）午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員5人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
新谷 達夫	委員	大久保 千春	委員
田村 明子	委員		

会社側出席者

代表取締役社長	室川 治久
常務取締役（編成・報道・制作・国際担当）	水島 敏夫
執行役員編成局長 兼 放送番組審議会事務局長	
	竹石 尚史
執行役員報道制作局長	稲田 裕之
報道制作局制作部長	小木 裕介
報道制作局 合評番組プロデューサー	笹川 忍

事務局	増子 隆	水野 明子
-----	------	-------

4 議 題

1) 番組合評

「その時あなたは どうする

～新潟地震50年 未来へのメッセージ～」

〔放送：6月7日（土）13:30-14:25〕

（説明：番組プロデューサー 笹川 忍）

2) 会社報告

①5月の視聴者の意見。 （報告：番組審議会事務局）

②講じた措置、公表など定例報告等。（報告：番組審議会事務局）

3) その他

5 審議の概要（委員の意見）

会社側から、番組のコンセプトは、新潟地震の検証に終始するのではなく、地震の教訓、最新の研究・シミュレーションから得られる知識を次の世代に伝えていこうことであること、さらに戦後初めての都市型地震とされる新潟地震が、火災・津波・液状化現象という点で、東日本大震災と重なる部分もあり、そのような視点から、視聴者が防災への意識を高めるきっかけとなればという想いも含めて、番組制作を行ったという説明があった。

●貴重な映像、県内外での取材など、丁寧な報道番組として有意義なものだった。

- 当時の被害状況の説明部分では、新潟市民以外の人には、場所などがわかりづらく、自分とつながらないため、果たして必要な情報だったのかと感じた。
- 行政や地域の取り組みがわかり、ためになった。
- 生放送であったがために、時間の制約で、本当の言葉を引き出せないで終わったのではないか、生放送の必要はあったのか？
- 生中継の小学生の合宿部分は、アナウンサーの真面目なりポートと、周りの子供達の雰囲気 mismatches だと感じた。
- 冒頭で東日本大震災の映像を使っていたが、過去の忌まわしい映像は避けるべきという意見もあるが、津波の怖さは実際の映像を見るのが一番大切だと思う。
- 50センチ程度の津波と聞くと、大したことないと感じてしまうが、体験レポートで50センチの津波の怖さを映像で示した点はよかった。また、液状化現象も、浦安の取り組みを紹介した点がわかりやすく、何とか今につなげようという工夫もあってよかったと思う。
- 防災合宿から繰り返し中継していたが、1、2度にとどめて、その分、他のところを掘り下げてほしかった。
- 高度経済成長、都市化が進む中で起きた災害。不経済な安全より豊かさを求めた部分のあったのではないかと今思うと、教訓が活かされているのか、活かされていないため、何が起きているのかという視点もあってよかったのではないか。
- 新潟地震は、高校3年生の時、その時の記憶が蘇ってきて、タイムスリップしたような気がした。こういうものは後世に残してゆくべきもので、番組制作した意義はあったと思う。

●経験を未来にどう生かしてゆくかが重要、『未来へのメッセージ』はゼロだった。それは行政が何もしていないからではないか？番組の中でそれらを追及することができなかつたのか？

歴史はわかったが、対策はわからなかつた。

●子供達に、地震の時にどうすればいいかを伝えるのは大変難しい。体験がないとわからないので、リアリティー・緊迫感のある内容のものがいくつかあると、パワーある情報が提供できたと思う。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

5月…… 114件。

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成26年5月19日)から昨日(平成26年6月22日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回、第308回審議会では

「離島中学生～しおかぜ留学1年の記録～」
を審議いただきました。

委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧します。

8 今回の第 309 回放送番組審議会の公表

- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
- 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。
- 3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項（委員への配布資料）

- ・ 5月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・ 民間放送新聞（5/23、6/3、13号）
- ・ BPO報告 NO.136

以上